

小金井市保健福祉総合計画策定のための アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

小金井市では、保健福祉に関する施策の総合的な推進を図るため、小金井市保健福祉総合計画を策定します。保健福祉総合計画の中の一つに、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、市民、関係機関、団体と行政が協働し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりをめざす「小金井市地域福祉計画」があります。

このアンケート調査は、保健福祉総合計画のための調査で、地域における福祉の担い手である、福祉に関連する活動を行っている市内の団体を対象に実施します。

このアンケート調査に際しましてはプライバシーの保護に万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年12月

小金井市長 西岡 真一郎

ご記入にあたってのお願い

- お答えは、あてはまる回答の**番号に○**をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。
- なお、本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。
- ご記入いただいた調査票は、**12月22日（木）**までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

小金井市 福祉保健部 地域福祉課

電話：042-387-9915（直通） FAX：042-384-2524

担い手調査は平成28年度に新たに設定した調査であるため、前回調査は存在しません。

I. 貴団体についておたずねします。

F1 貴団体はどのような活動団体ですか。(ひとつだけ○)

- 1 NPO法人 2 任意団体（法人格なし） 3 その他（ ）

F2 貴団体の名称と連絡先をご記入ください。

団体名称	
連絡先	住所
	電話

F3 貴団体の主な活動場所は次のうちどれですか。(ひとつだけ○)

- 1 団体の事務所
2 地域の公的施設（公民館や地域の集会所等）
3 福祉施設や病院等
4 メンバーの個人宅や勤務先等
5 その他（ ）

F4 貴団体は、活動をはじめてからどのくらいになりますか。(ひとつだけ○)

- 1 1年未満 4 5年以上 10年未満
2 1年以上 3年未満 5 10年以上 20年未満
3 3年以上 5年未満 6 20年以上

F5 活動しているメンバーの数は何人ですか。(ひとつだけ○)

- 1 10人未満 4 50～99人
2 10～29人 5 100～499人
3 30～49人 6 500人以上

F6 活動している中心メンバーの年齢層はどれですか。(ひとつだけ○)

- 1 20歳未満 4 40代 7 70代
2 20代 5 50代 8 80歳以上
3 30代 6 60代 9 わからない

問3 貴団体の平成27年度の事業費(活動費)の合計はどのくらいですか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 100万円未満 | 5 1,000万～1,500万円未満 |
| 2 100万～250万円未満 | 6 1,500万～2,000万円未満 |
| 3 250万～500万円未満 | 7 2,000万円以上 |
| 4 500万～1,000万円未満 | |

問4 貴団体は、平成27年度に助成金を受けましたか。(ひとつだけ○)

※複数受けた場合は、金額の一番多いものでご回答ください。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1 行政など公的機関の助成金 | 4 個人による助成金 |
| 2 民間企業などによる助成金 | 5 その他() |
| 3 NPO団体などによる助成金 | 6 助成金を受けていない |

(問4で「1」～「5」を選んだ方におたずねします。)

問4-1 平成27年度に受けた助成額の合計額はいくらでしたか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 50万円未満 | 4 200～500万円未満 |
| 2 50万～100万円未満 | 5 500～1,000万円未満 |
| 3 100万～200万円未満 | 6 1,000万円以上 |

問5 貴団体では、活動や事務作業で報酬を受け取る人がいますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------|-------|
| 1 いる | 2 いない |
|------|-------|

(問5で「1 いる」を選んだ方におたずねします。)

問5-1 平成27年度の人件費総額はいくらでしたか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 50万円未満 | 4 200～500万円未満 |
| 2 50万～100万円未満 | 5 500～1,000万円未満 |
| 3 100万～200万円未満 | 6 1,000万円以上 |

問6 活動や事業で公的機関や他団体から業務受託しているものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 行政からの受託 | 5 個人からの受託(一定期間継続する業務) |
| 2 企業からの受託 | 6 その他() |
| 3 社会福祉法人やNPOなどからの受託 | 7 業務受託しているものはない |
| 4 自治会やPTAなど地域の組織からの受託 | |

問7 活動を行う上で、どのような団体、グループと交流や協力関係がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 町内会・自治会 | 13 自立相談サポートセンター |
| 2 NPO法人 | 14 青少年健全育成地区委員会 |
| 3 ボランティア団体 | 15 病院・医療施設 |
| 4 民生委員・児童委員 | 16 保育所・幼稚園 |
| 5 保護者会・PTA | 17 小学校・中学校 |
| 6 老人会・老人クラブ | 18 高校・大学 |
| 7 障がい者当事者会・家族会 | 19 消防団・自主防災組織 |
| 8 社会福祉協議会 | 20 企業・商店 |
| 9 高齢者福祉施設 | 21 その他 () |
| 10 地域包括支援センター | 22 特にない |
| 11 障がい者福祉施設 | |
| 12 児童福祉施設 | |

問8 他団体との交流や協力関係は、どのような状況ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 活動や業務を一緒に行っている | 6 イベントを共催している |
| 2 定期的に協議している | 7 行政などに提案活動を行っている |
| 3 資金を出し合っ活動や業務を行っている | 8 事務所や活動の場所を共有している |
| 4 人事交流をしている | 9 その他 () |
| 5 広報活動を一緒に行っている | 10 協力し合っている団体はない |

問9 貴団体の活動で、最も力を入れている活動について、活動内容をご記入ください。

問10 これから力を入れていきたい活動はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 市民からの相談支援、援助
- 2 同じ分野・活動内容の団体・施設・個人との交流やネットワーク
- 3 異なる分野・活動内容の団体・施設・個人との交流やネットワーク
- 4 高齢者、障がい者、子ども等のふれあいの拠点づくり
- 5 地域での高齢者や障がい者の安否確認、話し相手、見守り等
- 6 家事等の生活支援や外出支援
- 7 趣味・娯楽・生きがいづくり活動
- 8 イベント等を通じた普及啓発活動
- 9 介護技術、手話等専門技術を生かした地域活動
- 10 地域の新しいニーズを発見する活動
- 11 課題解決に向けて政策提言する活動
- 12 就労や就職を支援する活動
- 13 その他 ()

問11 貴団体が活動する上での課題はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 活動のための人材（メンバー、ボランティア等）が少ない、足りない
- 2 活動の中心となるリーダーや後継者が育たない
- 3 メンバーが高齢化してきている
- 4 同じ分野、活動内容の団体・施設・個人とのネットワークづくりの場がない
- 5 異なる分野、活動内容の団体・施設・個人とのネットワークづくりの場がない
- 6 多くの人に参加しやすい活動内容となっていない、活動の利用者・参加者が少ない
- 7 活動・事業の内容を情報発信する機会が少ない、活動が知られていない
- 8 活動資金が不足している、採算が合わない
- 9 活動場所や事務所の場所の確保が難しい
- 10 地域資源（人、団体、場所等）の情報が得にくい
- 11 活動に必要な情報や専門知識が不足している
- 12 組織運営がうまくいかない
- 13 その他 ()
- 14 特にない

問12 活動上の課題解決に必要なことはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1 資金援助 | 5 他団体とのコーディネート機能 |
| 2 専門家のアドバイス | 6 場所の提供 |
| 3 研修の機会 | 7 その他 () |
| 4 情報提供 | |

Ⅲ. 小金井市や小金井市社会福祉協議会との関係についておたずねします。

問13 日ごろの活動の中で、小金井市(行政)と関わりを持っていますか。(ひとつだけ○)

- 1 日ごろからよく連携したり、支援を受けて活動している
- 2 連携したり、支援を受けることがある
- 3 関わりはあまりない
- 4 その他 ()

問14 今後、どのように小金井市(行政)と連携・協働していきたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 小金井市との事業・イベントの共催
- 2 小金井市の事業・イベントへの参加・協力
- 3 小金井市との情報交換・共有
- 4 小金井市の事業・イベントの企画・立案等への参加・協力
- 5 小金井市による、貴団体の活動の情報発信
- 6 小金井市からの事業委託
- 7 その他 ()
- 8 連携・協働したいと思わない

問15 日ごろの活動の中で、小金井市社会福祉協議会と関わりを持っていますか。

(ひとつだけ○)

- 1 日ごろからよく連携したり、支援を受けて活動している
- 2 連携したり、支援を受けることがある
- 3 関わりはあまりない
- 4 その他 ()

問16 今後、どのように小金井市社会福祉協議会と連携・協働していきたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1 社会福祉協議会との事業・イベントの共催
- 2 社会福祉協議会の事業・イベントへの参加・協力
- 3 社会福祉協議会との情報交換・共有
- 4 社会福祉協議会の事業・イベントの企画・立案等への参加・協力
- 5 社会福祉協議会による、貴団体の活動の情報発信
- 6 社会福祉協議会からの事業委託
- 7 その他 ()
- 8 連携・協働したいと思わない

IV. 地域の課題についておたずねします。

問17 活動の中で気づく地域の課題はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

<人に関すること>

- 1 日中独居の高齢者・障がい者
- 2 認知症高齢者
- 3 ひきこもり
- 4 孤立(孤独死)
- 5 障がい者の地域生活
- 6 子育てに関する不安を抱えている人
- 7 子ども・高齢者・障がい者への虐待
- 8 配偶者等からの暴力(DV)
- 9 買い物の困難等の生活課題
- 10 生活困窮者、失業・生活再建等
- 11 子どもの貧困
- 12 複数の課題を抱える世帯
- 13 福祉サービスの利用に結びついていない人

<コミュニティに関すること>

- 14 近隣住民同士の交流
 - 15 高齢者や障がい者の地域での居場所
 - 16 異世代の交流
 - 17 障がい者と地域の人々との交流
 - 18 近隣との摩擦(ごみ屋敷、騒音等)
- <まちに関すること>
- 19 まちのバリアフリー(道路の段差等)
 - 20 放置自転車やごみの不法投棄等
 - 21 防災・災害対策
 - 22 1人での避難が困難な人(避難行動要支援者)
 - 23 防犯・治安・交通安全等
- <その他>
- 24 その他()
 - 25 特にない

問18 地域の課題を解決するために、どのような方策が必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 町内会・自治会への入会を勧める
- 2 地域の集まりへの参加を促す
- 3 地域活動を活発にする
- 4 住民のボランティア活動を活発化させる
- 5 地域の見守り活動を活発化させる
- 6 誰もが気軽に来られる居場所を地域に増やす
- 7 相談窓口を充実させる
- 8 地域福祉の担い手となる人々^{※1}を増やす
- 9 地域福祉の担い手となる人々^{※1}が連携する
- 10 地域の問題を専門的な福祉サービスにつなげる
- 11 住民と行政をつなげるパイプ役を果す組織を増やす
- 12 その他()

※1 行政、民生委員・児童委員、町内会・自治会、ボランティア団体、NPO等

問22 地域の支え合いの仕組みづくりで、あなたが特に必要であると思うことは何ですか。
(○は3つまで)

- 1 地域住民が地域の福祉活動に参加するようPRすること
- 2 地域の人々が知り合う機会や活動する場所を確保すること
- 3 ボランティアを募集し、紹介する窓口を設けること
- 4 地域の支え合いを進めるために、きっかけとなる事業を創設し推進すること
- 5 様々な団体が地域の課題について話し合うための機会を設けること
- 6 活動する場所や資金を行政が支援すること(活動拠点等の整備等)
- 7 地域で暮らす様々な人々が、お互いに認め合い、支え合うよう意識を啓発すること
- 8 社会福祉協議会やボランティア団体・NPO 法人等活動の充実
- 9 企業の福祉事業への参入の拡大・活性化
- 10 福祉に頼る以前に、まず個人・家族で努力すべき
- 11 その他()

問23 みんなで助け合い・支え合える地域をつくるために、貴団体ができることや、地域や行政と協働で取り組むべきことなど、何かご意見などがあれば教えてください。

ご協力ありがとうございました。